



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社ライトアップ  
 コード番号 6580 URL <https://www.writeup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5784-0700

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	315	6.0	28		29		18	
2019年3月期第1四半期	335		41		29		27	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.16	
2019年3月期第1四半期	10.12	10.02

(注)1. 当社は、2018年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。

2. 2018年6月22日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年3月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2019年3月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	1,688	1,448	85.8	554.58
2019年3月期	1,811	1,467	81.0	561.74

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 1,448百万円 2019年3月期 1,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,813	12.4	353	27.4	326	23.3	226	17.9	80.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,903,000 株	2019年3月期	2,903,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	290,300 株	2019年3月期	290,300 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	2,612,700 株	2019年3月期1Q	2,698,483 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想の業績と異なる場合がありますのでご了承下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	1
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期貸借対照表 .....	2
(2) 四半期損益計算書 .....	3
第1四半期累計期間 .....	3
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	4
(継続企業の前提に関する注記) .....	4
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	4
(セグメント情報等) .....	4
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかに景気回復基調が継続してきたものの、米中貿易摩擦の深刻化や原油価格、為替相場の変動等、国際政治や経済情勢は不確実性が高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社では「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念のもと、クラウドソリューション事業とコンテンツ事業を展開した結果、当第1四半期累計期間の売上高は315,452千円（前年同四半期比6.0%減）、営業損失は28,931千円（前年同四半期は41,513千円の営業利益）、経常損失は29,034千円（前年同四半期は29,161千円の経常利益）、四半期純損失は18,717千円（前年同四半期は27,297千円の純利益）となりました。

なお、当社におきましては、クラウドソリューション事業において、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、Jエンジンのコンサルティング内容に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請が集中するといったことに起因いたします。またコンテンツ事業においては、12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、年度の下半期に収益が偏重する計画を立てております。

セグメント別は次のとおりであります。

クラウドソリューション事業におきましては、パートナー企業によるIT・人材・マーケティング関連商材の開発、仕入れ及び営業支援を行っている「JDネット」サービスと経営課題解決エンジン「Jエンジン」を主軸にIT・人材・マーケティング・資金の4つの視点から経営課題の解決施策を提案するコンサルティングサービスを展開してまいりました。当第1四半期累計期間は、JDネットにおける新規パートナー企業の加入及び商材の販売はおおむね計画通り堅調に推移しました。Jエンジンにおけるコンサルティングサービスにおいては、人材採用関連サービスは前年同期比で大きく伸びましたが、一方で他社との提携及びHRソリューションの新商材のための人員異動を実施した結果、前年同期まで注力した研修サービスの積極提供を抑制したことから、その売上が減少いたしました。

この結果、同セグメントの売上高は233,512千円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益は5,593千円（同92.0%減）となりました。

コンテンツ事業におきましては、業種、規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作を請負うサービスを展開しており、緩やかな景気の拡大に伴う市場環境に合わせサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第1四半期累計期間は、メール及びソーシャルメディア分野は堅調に推移しましたが、Web及びコンテンツ制作において減収となりました。

この結果、同セグメントの売上高は81,939千円（前年同四半期比10.2%減）、セグメント利益は18,342千円（同26.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べ122,716千円減少し、1,688,701千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が91,013千円、現金及び預金が37,149千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ103,998千円減少し、239,761千円となりました。これは主に、買掛金が64,228千円、未払法人税等が38,315千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ18,717千円減少し、1,448,939千円となりました。これは主に、利益剰余金が18,717千円減少したことによるものであります。純資産の内訳は資本金が386,381千円、資本剰余金が304,281千円、自己株式が286,526千円、利益剰余金が1,044,803千円であります。

なお、自己資本比率は85.8%となっております。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,358,346	1,321,197
受取手形及び売掛金	318,268	227,255
仕掛品	4,144	3,971
貯蔵品	1,820	1,473
その他	35,434	42,502
貸倒引当金	△27,947	△41,586
流動資産合計	1,690,067	1,554,813
固定資産		
有形固定資産	10,755	14,002
無形固定資産	6,309	5,879
投資その他の資産		
敷金	82,944	82,653
その他	23,179	36,081
貸倒引当金	△1,837	△4,728
投資その他の資産合計	104,285	114,007
固定資産合計	121,350	133,888
資産合計	1,811,417	1,688,701
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,987	45,758
短期借入金	30,000	30,000
未払法人税等	39,866	1,551
前受金	100,699	96,399
その他	62,884	62,382
流動負債合計	343,437	236,091
固定負債		
リース債務	322	3,670
固定負債合計	322	3,670
負債合計	343,760	239,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	1,063,521	1,044,803
自己株式	△286,526	△286,526
株主資本合計	1,467,657	1,448,939
純資産合計	1,467,657	1,448,939
負債純資産合計	1,811,417	1,688,701

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	335,629	315,452
売上原価	115,641	116,358
売上総利益	219,987	199,094
販売費及び一般管理費	178,474	228,025
営業利益又は営業損失(△)	41,513	△28,931
営業外収益		
受取利息	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
支払利息	123	103
支払手数料	12,226	-
雑損失	1	-
営業外費用合計	12,351	103
経常利益又は経常損失(△)	29,161	△29,034
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	29,161	△29,034
法人税、住民税及び事業税	△4,619	△266
法人税等調整額	6,483	△10,050
法人税等合計	1,864	△10,316
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,297	△18,717

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社は、2018年6月22日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2018年6月21日を払込期日とする公募増資による新株式150,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ194,580千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が294,280千円、資本準備金が212,180千円となっております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	クラウドソリューション事業	コンテンツ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	244,386	91,242	335,629
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	244,386	91,242	335,629
セグメント利益	70,411	24,912	95,323

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	95,323
全社費用(注)	△53,810
四半期損益計算書の営業利益	41,513

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	クラウドソリューション 事業	コンテンツ 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	233,512	81,939	315,452
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	233,512	81,939	315,452
セグメント利益	5,593	18,342	23,936

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	23,936
全社費用(注)	△52,867
四半期損益計算書の営業損失	△28,931

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。